

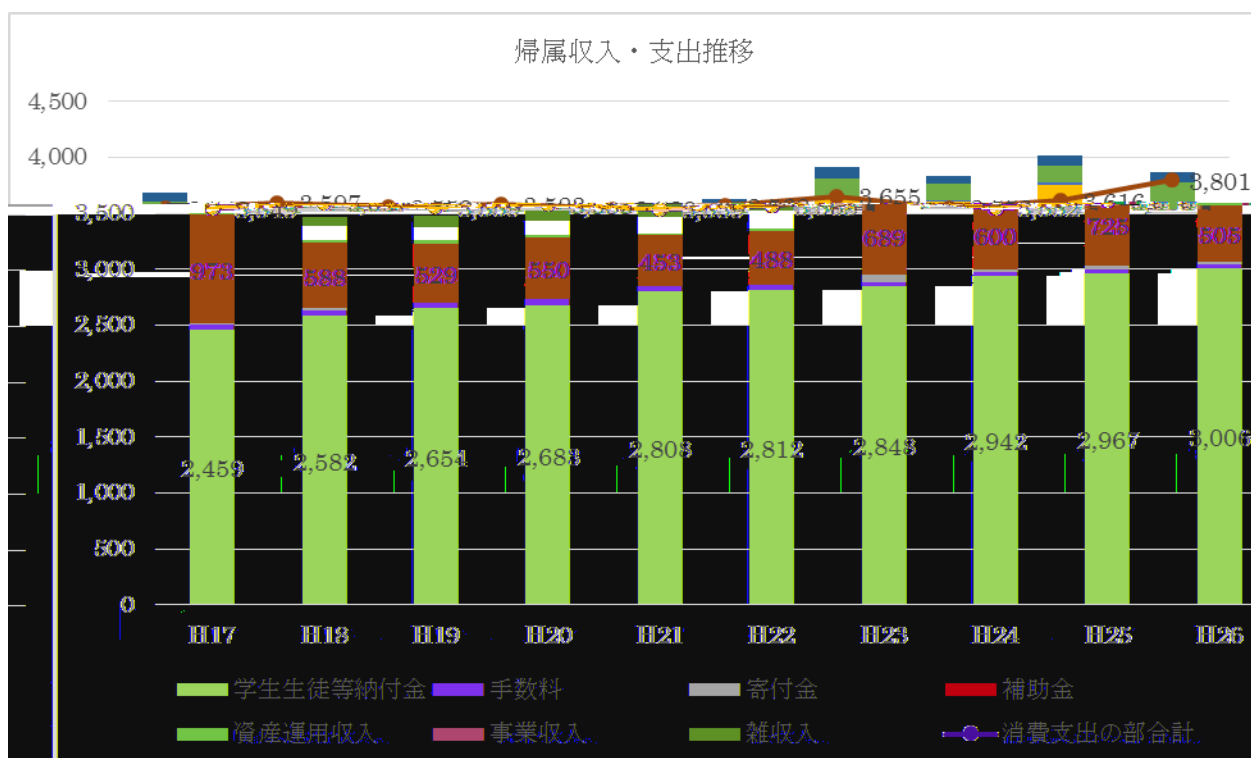
4-(2)-① 平成26年度 財務の概要

1) 概況

平成26年度決算では帰属収入が3,871百万円となり、昨年度の4,025百万円から154百万円の減少となりました。これは前年度施設・設備関係で大規模な工事を実施し、それに伴う補助金を獲得していたことによるものです。収入の主となる学生生徒等納付金収入は、入学者数が順調に推移しているため増加を続けており平成26年度は3,006百万円に達しています。

一方、消費支出は3,801百万円で、昨年度の3,616百万円から185百万円増加しております。これは主に新規事業の実施や受託事業の増加に伴う支出等の増加によるものです。

帰属収支差額はプラス70百万円で、昨年に引き続きプラスとなっています。



2) 資金収支計算書

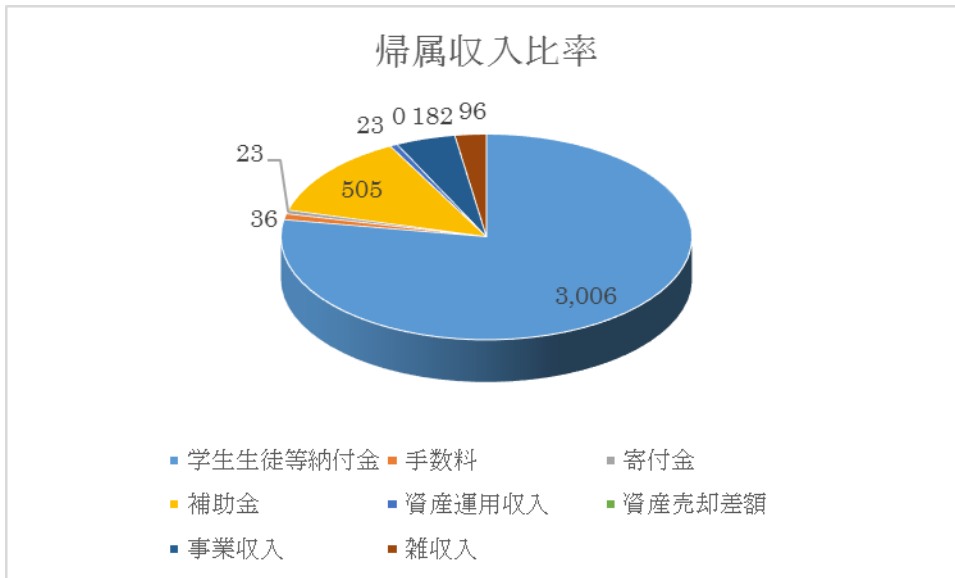
収入の部、支出の部合計は予算額より7百万円減の5,407百万円となっています。

収入の部で前受金収入が予算対比で減少していることが原因です。結果として、次年度繰越支払資金が予算額より154百万円増となっています。

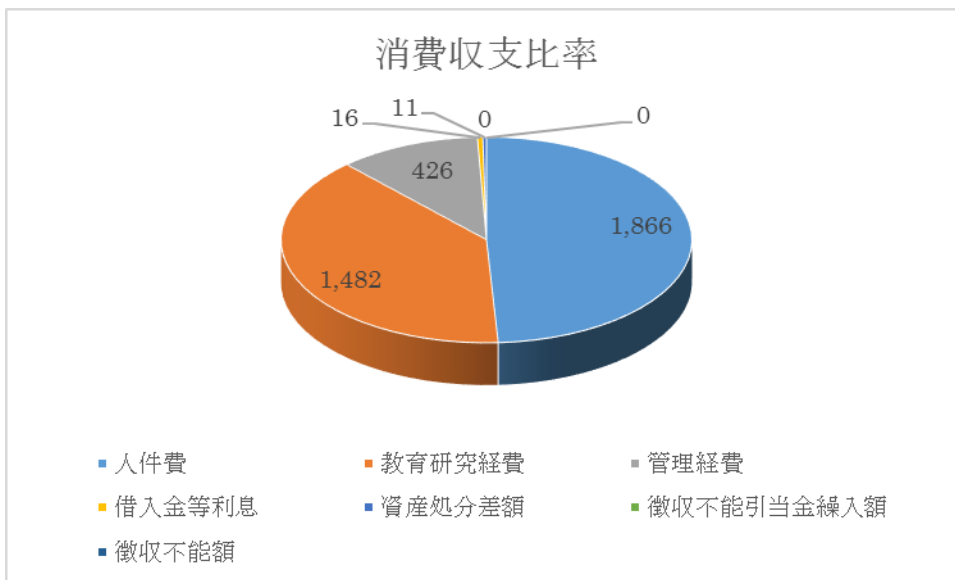
支出の部では、東日本大震災の学費減免措置に係る奨学費支出が14百万円、耐震改修工事など施設・設備関係支出が559百万円となっております。

3) 消費収支計算書

収入の主となる授業料収入は、入学者数が順調に推移しているため増加を続けており平成26年度は3,006百万円に達しています。



当年度消費支出超過額は予算に対して減少しています。これは受託事業等の増加に伴い消費収入が予算に比べて増加したことが原因です。



4) 貸借対照表

負債の部は長期借入金の返済が順調に進んでおります。平成20年度に導入したBEMS設備のリース未払金及び平成22年度に更新した教育用機器のリース未払いについても順調に支払いが進んでおり、前受金を除いた負債率11.8%と、昨年度より0.2ポイント減少しています。

資産の部はデザイン工学実習棟および芸術実習棟の耐震改修工事、コンピュータシステムの更新などにより固定資産が増加した一方、未収入金の減少により、資産の部合計は昨年度より 24 百万円減の 16,133 百万円となっています。